

京 焼

その技が
歴史をつくる

2020年
3.14 土 ▶ 6.14 日

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(祝・休日の場合開館、翌平日休館)

【入館料】一般1,000円(800円)

高・大学生・シニア65歳以上800円(600円)

中学生600円(400円)、小学生以下無料

障がい者手帳をお持ちの方700円()内は20名以上の団体料金

【チケット販売】チケットぴあ・セブン-イレブン

名古屋市文化振興事業団チケットガイド

【後援】名古屋市教育委員会・愛知県教育委員会

名古屋市立小中学校PTA協議会



横山美術館
Yokoyama Art Museum

名古屋市東区葵一丁目1番21号 TEL.052-931-0006

京焼

その技が
歴史をつくる



帯山與兵衛
「上絵金彩花蝶図飾壺」



幹山伝七
「上絵金彩花図花瓶」



松風嘉定
「朝顔図蓋物」



京都陶磁器試験場
「艶消釉マジョリカ
風花瓶」



錦光山宗兵衛
「上絵金彩花蝶図花瓶」

江戸時代の京都では仁清や乾山に代表されるように、雅やかな文化と精緻な技に培われた品格ある陶磁器がつくられてきました。

しかし、明治維新によって首都機能が東京に移されると、天皇をはじめとする上流階級も東京へと転居し、京焼は従来の高級陶磁器の購買層を失ってしまいます。そこで、粟田では錦光山宗兵衛らが海外市場に目を向け、京都ならではの洗練された美意識で薩摩焼を華やかに装飾した「京薩摩」をつくって、高い評価を得ることに成功しました。

また、松風嘉定や七代錦光山宗兵衛の主導で明治29年(1896)に京都市陶磁器試験場が設立され、エリート技師たちが当時の最先端技術をリードしていきました。本企画展では明治・大正時代を中心に、伝統を守りながら革新的な陶磁器を生み出そうと研鑽を重ねた、京焼の美の世界を紹介いたします。



関連イベント

講演会「世界に雄飛した 京焼・京薩摩—その魅力を探る—」

京都粟田焼・京薩摩研究家の錦光山和雄氏をお招きし、明治・大正時代の京都の陶磁器についてお話しいただきます。

日時：2020年4月5日(日) 13:30~15:00

場所：横山美術館

定員：60名(要事前申し込み)

申込方法：3月4日(水)からお電話にて先着順

聴講料：無料(展示をご覧になるには別途、入館料が必要です)



錦光山和雄氏

絵付け体験「はんなり 華やか 京焼のマルチボウル」

やわらかな乳白色が上品な京焼に、転写で華やかに上絵付けします。抹茶碗にも小どんぶりにもなる、使いやすいつわです。

日時：2020年5月24日(日) 13:30~15:00

場所：横山美術館

定員：20名

申込方法：3月14日(土)からお電話にて先着順

参加費：2800円(材料・焼成費・入館料込み)

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

3月21日(土)、4月4日(土)

4月18日(土)、5月2日(土)

5月16日(土)、6月6日(土)

場所：美術館展示室

いずれも13:30より1時間程度

※事前申込不要、要入館料

※都合により変更する場合があります



年間パスポート会員募集中!
年会費3,000円

※年パス会員の方に限り
ヤマザキマザック美術館・古川美術館の
ご優待が受けられます。

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。



公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市中区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>



次回企画展予定

「時と美を託す 陶板展」

2020年7月4日(土)~
2020年10月4日(日) 予定

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線

「新栄町」駅(1番出口) 徒歩 4分

名古屋市営地下鉄桜通線

「高岳」駅(3番出口) 徒歩 4分

※専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



本企画展開催中、このチラシを提示し、
有効期限2020年5月14日
100円割引
他館利用可